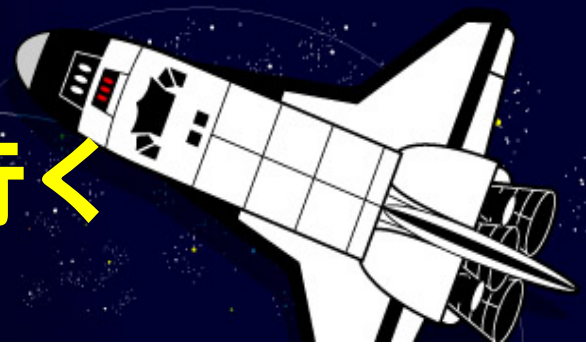


筑波

# ビーバー隊宇宙へ行く

**JAXA** 宇宙航空研究開発機構  
Japan Aerospace Exploration Agency

センター



三日月橋あやめ園駐車場に集合です。これより宇宙センターに向け出発です。

実物品のH-IIロケットがお出迎いです。センターの広さはなんと東京ドーム12個分なり。



じゃーん！ 初のパノラマ撮影です。長さはなんと、53メートル！ 右側の建物と同じぐらいだそう。



松葉杖は、サッカーで名誉の負傷、ビーバー隊にお供のカブスカウトです。



今回は、ガイド付きツアー見学をお願いしました。ビデオ上映後にセキュリティの関係で、このバスで各施設を回ります。





# 展示室棟

月周回衛星「かぐや (SELENE)」熱構造モデルの展示について  
 「かぐや」熱構造モデル(実物大)が筑波宇宙センター展示室へ新たに加  
 わりました。現在月の上空100キロの軌道を回っている「かぐや」と同じ大き  
 さの熱構造モデルは、実際の試験に使用されたものであり、この「かぐや」  
 熱構造モデルをご覧になっていただけるのは筑波宇宙センター展示室の  
 みとなっております。また、「かぐや」熱構造モデルと共に「かぐや」のハイビ  
 ジョンカメラによって撮影された美しいハイビジョン映像を65インチのプラズ  
 マテレビでお楽しみ頂けます。筑波宇宙センターへ見学にお越しの際に  
 は、是非「かぐや」熱構造モデルとハイビジョン映像上映をお楽しみ下さ  
 い。とのこと。フム、フム



これが「かぐや」で一す。まさか、竹で出  
 来ているのか？



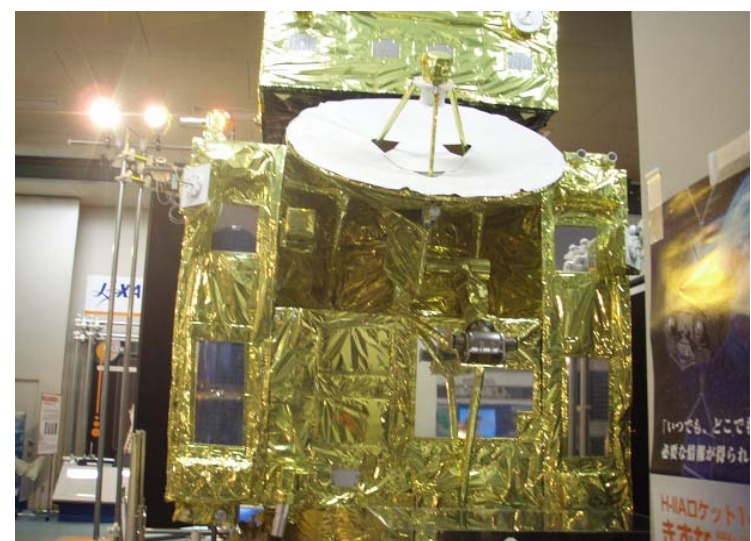
かぐや  
 ミッションマーク



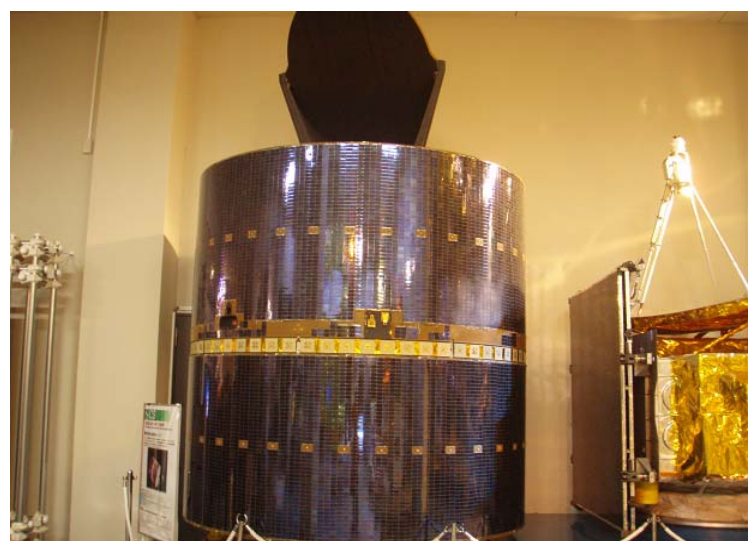
1975年に打ち上げられたN-Iから最新のH-II Bロ  
 ケットが勢ぞろいです。ちなみに1/20サイズです。



本物のロケットエンジンです。

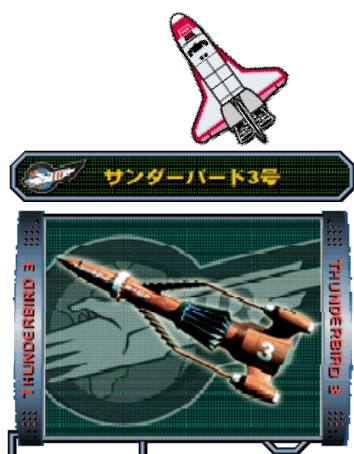


実物大の陸域観測技術衛星「だいち」です。なんと金色の  
 断熱材はマジックテープでついています。宇宙は無風なの  
 で剥れないそうだ。



ひまわり1号の予備機



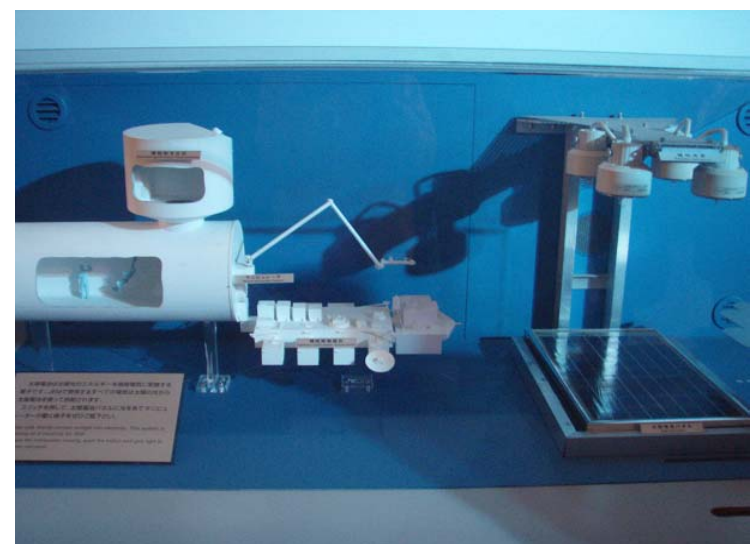


上はサンダーバード3号、約40年前に作られたTVシリーズですが、現在のロケットにかなり近い形をしていますね！



H-IIロケットのカットモデル。

M副長です。決して寒くて着膨れている訳ではありません。顔出し看板で記念撮影です。



国際宇宙ステーションの模型です。本物は、上空400kmの所にあり、肉眼でも見ることができそうだ。



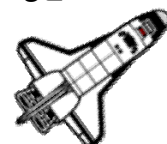
船外活動の様子。



ロシアのソユーズ帰還カプセル(手前)とバイオンカプセル(右後)と、大気圏突入で黒くなったバイオンカプセル(左後)



「なんだっぺよ！これ？」目が点になっているビーバースカウトたち。







# 宇宙ステーション試験棟

日本他の15カ国が協力して進める国際宇宙ステーションに日本は実験棟の「きぼう」で参加しますが、ここでは、その機能・システム試験や行なわれています。



なにを見てんのかな？



奥にあるのがロボットアームです。3回に分け、スペースシャトルで運ばれます。



# ロケット音響体験棟

ここではH-IIロケットとスペースシャトルの発射音響の体験ができます。



種子島宇宙センターのH-IIロケット発射イメージ  
さん・に・いち・ゼロ 発射

ごーおおおおおー



ケネディスペースセンターのスペースシャトル発射イメージ

3・2・1・0 Lift Off

GO-ooooooooo-

国産H-IIロケットとスペースシャトルの発射音の違いが分かったかな？ \*あくまでもM副長のイメージをもとに表現してあります。



長:今日はたのしかったですか? ス:わかんない。今回はちょっと内容が難しかったな。

ツアー見学基本コースには、宇宙飛行士養成棟・無重力環境試験棟のコースもあるそうだ。こんどはそっちも見てみたいもんだ。我がビーバー隊から宇宙飛行士は誕生するでしょうか? まあ、飛行少年にならなければ良いか!

# 野口宇宙飛行士も、ボーイスカウトです。



- 野口さんが宇宙飛行士に選ばれたポイントは、子供の時から続けていたスカウト活動でした。

野口さんは、小学校時代からボーイスカウトに所属し、現在も、ボーイスカウト茅ヶ崎第2団ビーバー隊の副長です。国際宇宙ステーション建設では、各国の宇宙飛行士と助け合っていく協調性が何より必要とされるため、宇宙飛行士の選抜試験において、野口さんの長いボーイスカウト活動歴は、高い評価を受けたそうです。

- 野口さんが、宇宙ステーションから、スカウトのみなさんに宛てたメッセージです！

message from space ★

ディスカバリー号(STS-114)からの  
メッセージ

ボーイスカウトの皆様

宇宙飛行士の野口 聡一です。  
我々のスペースシャトルSTS-114ミッションを応援していただきありがとうございました。

長い間一緒に訓練してきた仲間と力を合わせて、難しい任務を成功させることができ、とてもうれしく思っています。

チームワークが重要なのは、ボーイスカウトでも宇宙でも同じです。そなえよつねにの精神で、皆さんもボーイスカウト活動を楽しんでください。

日本に戻った時に皆さんにお話するのを楽しみにしています。

2005/8/6

国際宇宙ステーションにて  
宇宙飛行士 野口 聡一

- 宇宙飛行士になるきっかけはスペースシャトル

野口宇宙飛行士は高校1年生のとき、スペースシャトルの初飛行を見て、これからはふつうの技術者でも宇宙で活やくできる時代になると考えました。このときから、自分もいつかは宇宙に行きたいと思ってきたそうです。そして高校3年生のとき「宇宙からの帰還(きかん)」という本と出会い、宇宙飛行士になる決心をしたそうです。

宇宙飛行士になるためには？

- ★健康であること
- ★英語力があること
- ★協調性があること

～ これらのページの写真と文は、M副長とボーイ隊N隊員(一部写真)によるものです ～